

2013年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社
上席執行役員 経営企画室長

羽田野 彰士

2012年 7月31日

決算概要

(億円)

	12/3期Q1	13/3期Q1	増減率
売上高	956	959	+ 0%
粗利益	509 (53.2%)	517 (53.9%)	+ 2%
一般管理費	284 (29.7%)	302 (31.5%)	+ 6%
開発費	51 (5.3%)	60 (6.3%)	+18%
営業利益	174 (18.2%)	155 (16.1%)	-11%
(のれん償却除く)	193 (20.2%)	174 (18.2%)	-10%
経常利益	169 (17.6%)	130 (13.5%)	-23%
純利益	98 (10.2%)	82 (8.5%)	-17%

期中平均レート
 US\$ 82円
 EUR 117円

80円
 103円

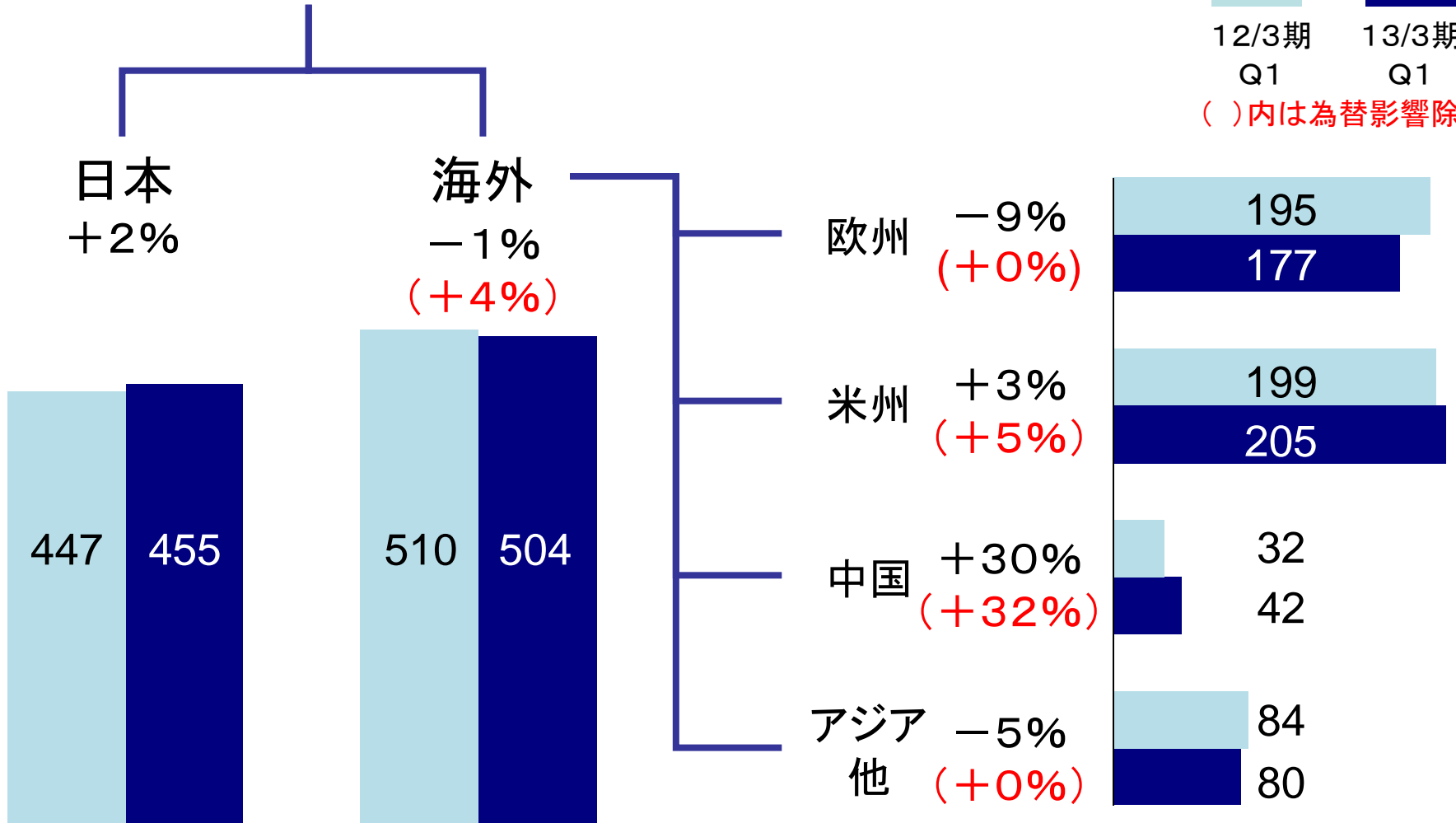
売上高(地域別)

連結: +0% (+3%)

(億円)

12/3期 Q1 13/3期 Q1

()内は為替影響除く



売上高(事業セグメント別)

(億円)

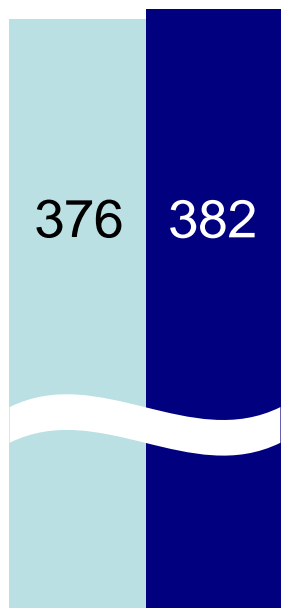
12/3期 Q1 13/3期 Q1

()内は為替影響除く

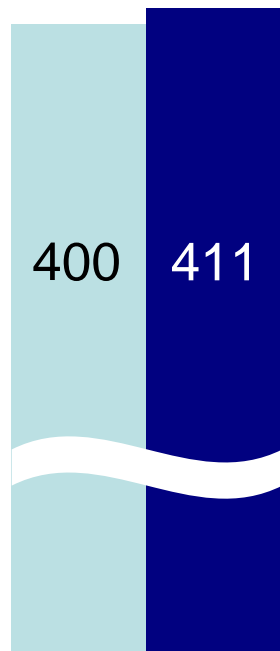
+1%
(+3%)

+3%
(+7%)

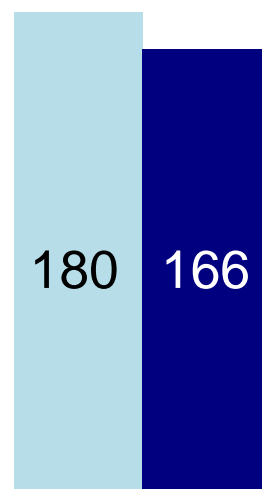
-8%
(-5%)



ホスピタル



心臓血管



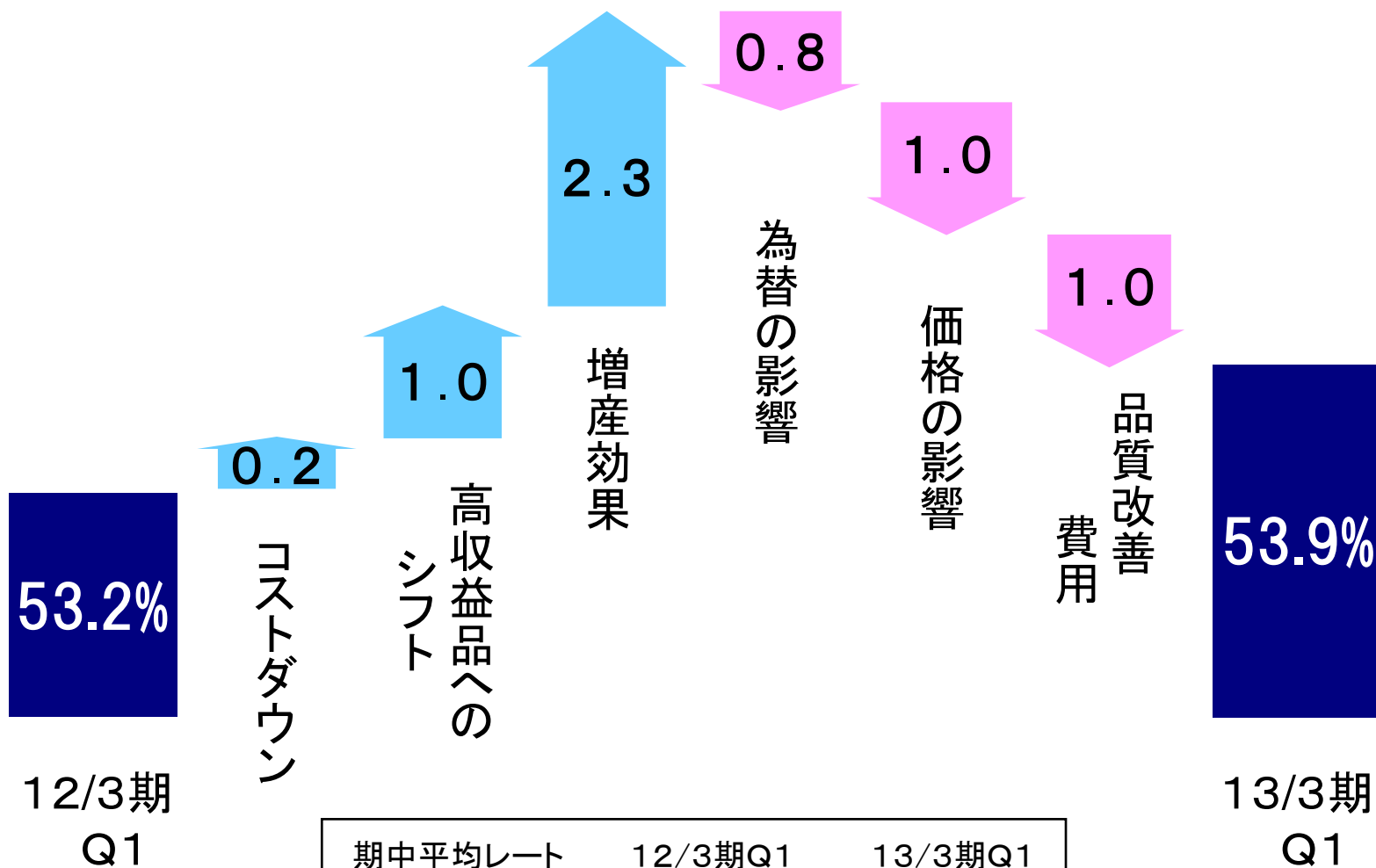
血液システム

事業別 国内外売上高と伸長率

下段カッコ内は為替影響除く

事業セグメント	国内	海外
ホスピタル	312 億円 (4%)	69 億円 (-3%)
心臓血管	117 億円 (-2%)	293 億円 (11%)
血液システム	26 億円 (-7%)	141 億円 (-5%)

粗利益率差異分析



期中平均レート	12/3期Q1	13/3期Q1
US\$	82円	80円
EUR	117円	103円

販管費

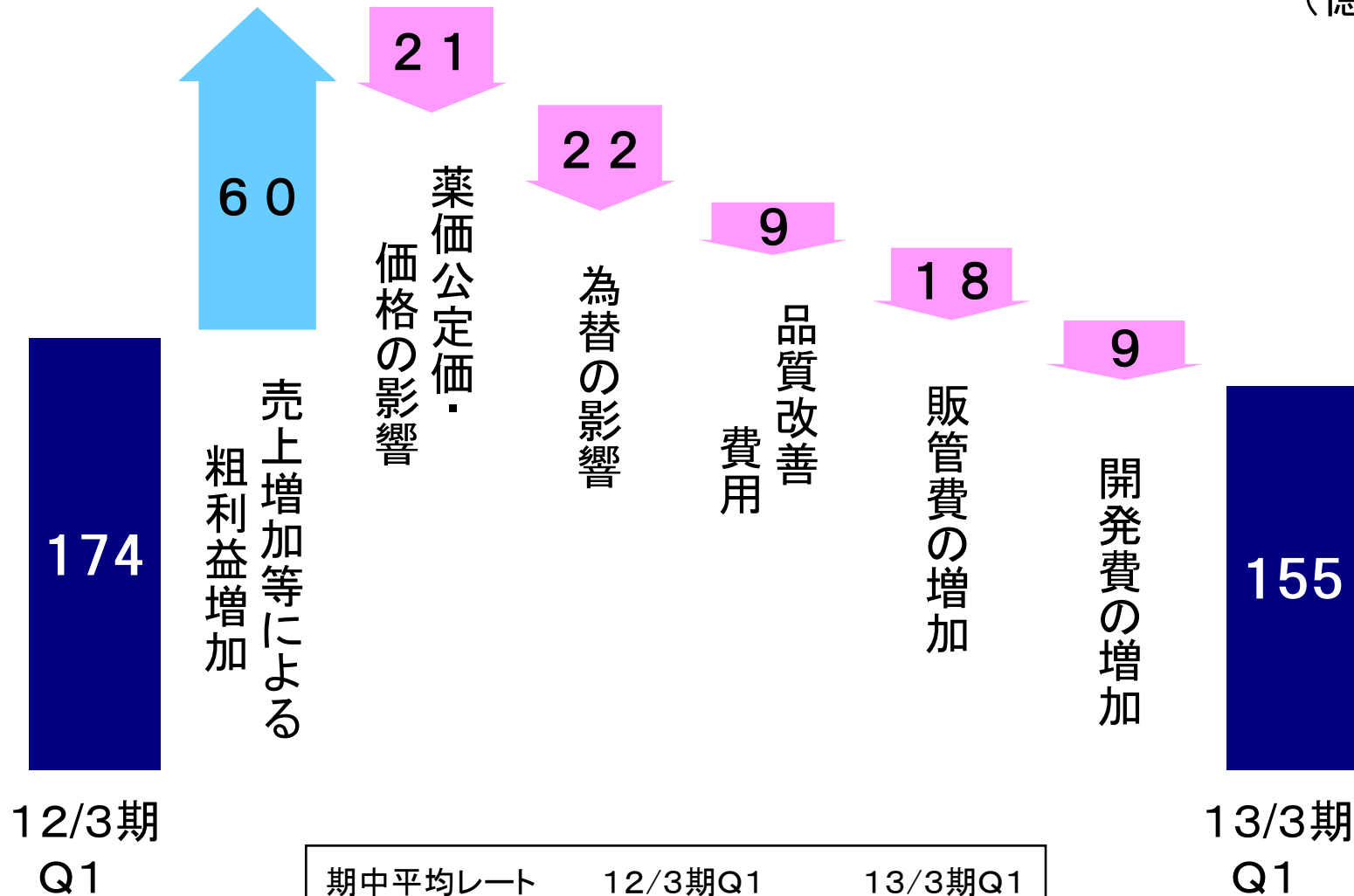
(億円)

	12/3期 Q1		13/3期 Q1		増減	増減率
人件費	122		127		+ 5	+4%
販促費	27		29		+ 2	+6%
物流費	25		25		- 0	-1%
償却費	43		44		+ 1	+1%
その他	67		77		+10	+17%
一般管理費計	284	(29.7%)	302	(31.5%)	+18	+6%
研究開発費	51	(5.3%)	60	(6.3%)	+ 9	+18%
販管費合計	335	(35.0%)	362	(37.8%)	+27	+8%

()内は対売上高%

営業利益増減分析

(億円)



期中平均レート	12/3期Q1	13/3期Q1
US\$	82円	80円
EUR	117円	103円

第1四半期トピックス

1. 対上期業績予想進捗
2. カテーテル、海外主要市場で好調に推移
3. テルモBCTの活動状況

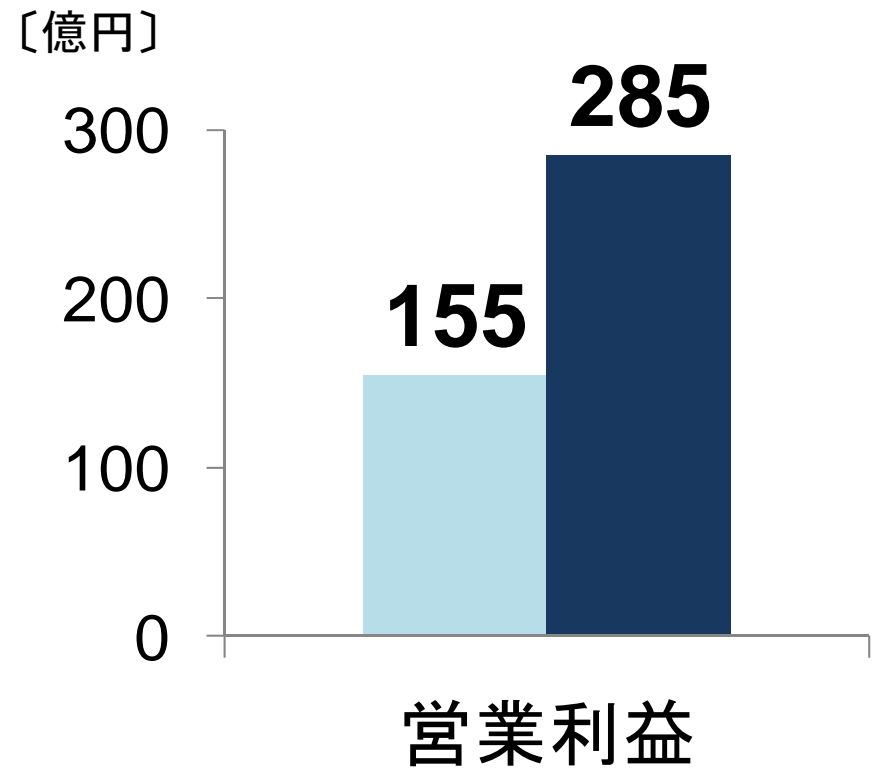
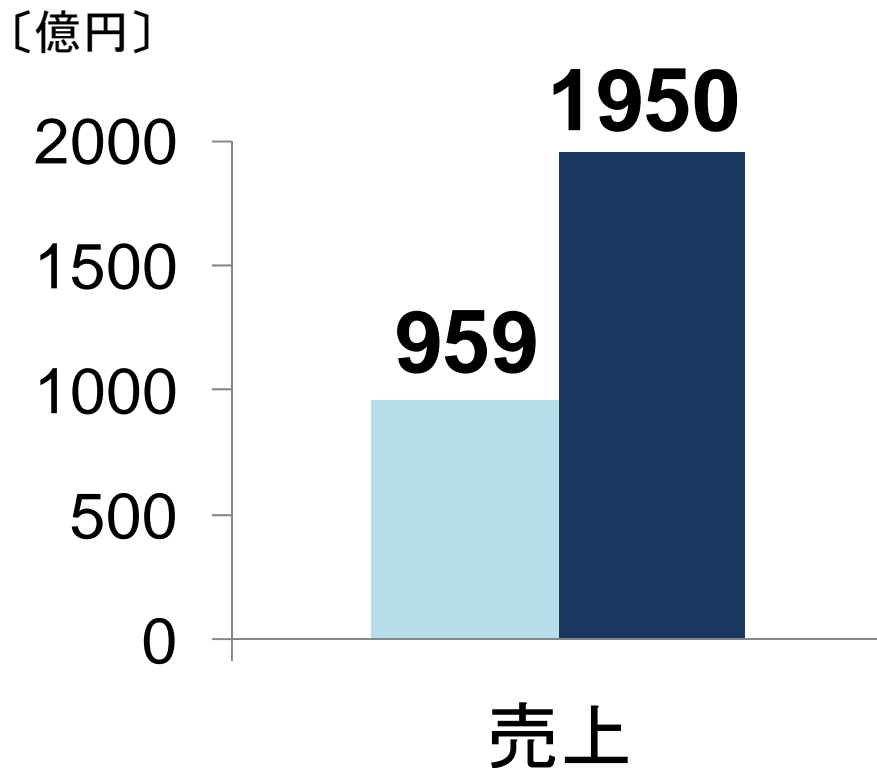
対上期業績予想進捗

■ 売上はほぼ想定通り、営業利益は若干上振れ

■ Q1実績 ■ 上期業績予想

進捗率: 49%

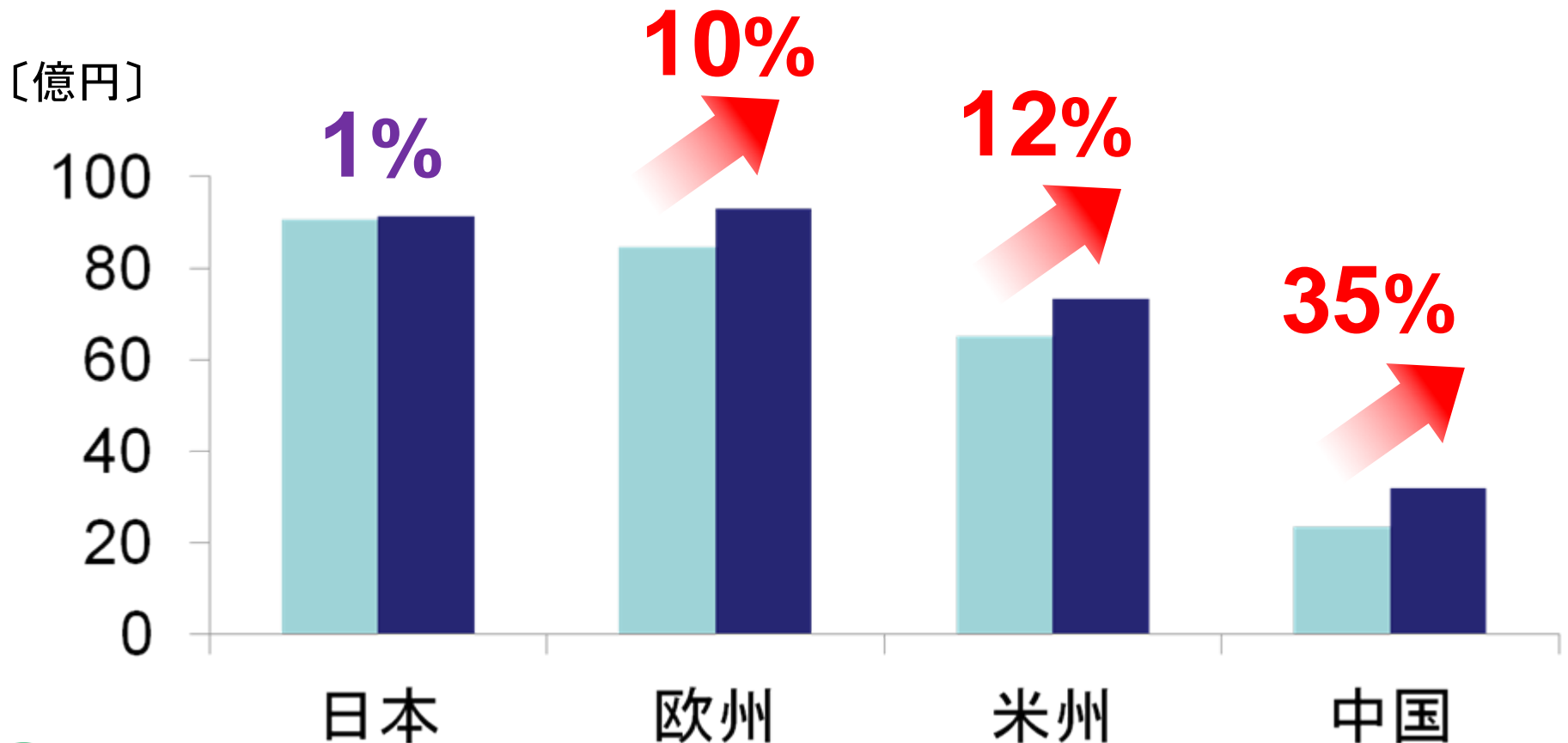
進捗率: 54%



カテーテル、海外主要市場で好調に推移

■ 為替影響を除く売上高で高い伸びを維持

■ 12/3期 Q1 ■ 13/3期 Q1



テルモBCTの活動状況

■ 販売統合

- 欧州：BCT販路の活用、全製品を自販化
- 日本・アジア：テルモ販路の活用

■ 生産統合・拡大

- ベトナムの南部に新工場の建設を決定、全血・成分の両方の製品を生産

参考資料

設備投資と研究開発費

(億円)

	12/3期	13/3期見通し	13/3期Q1
設備投資*	266	380	65(17%)
償却費*	288	325	77(24%)
研究開発費	243	270	60(22%)

* 無形資産含む

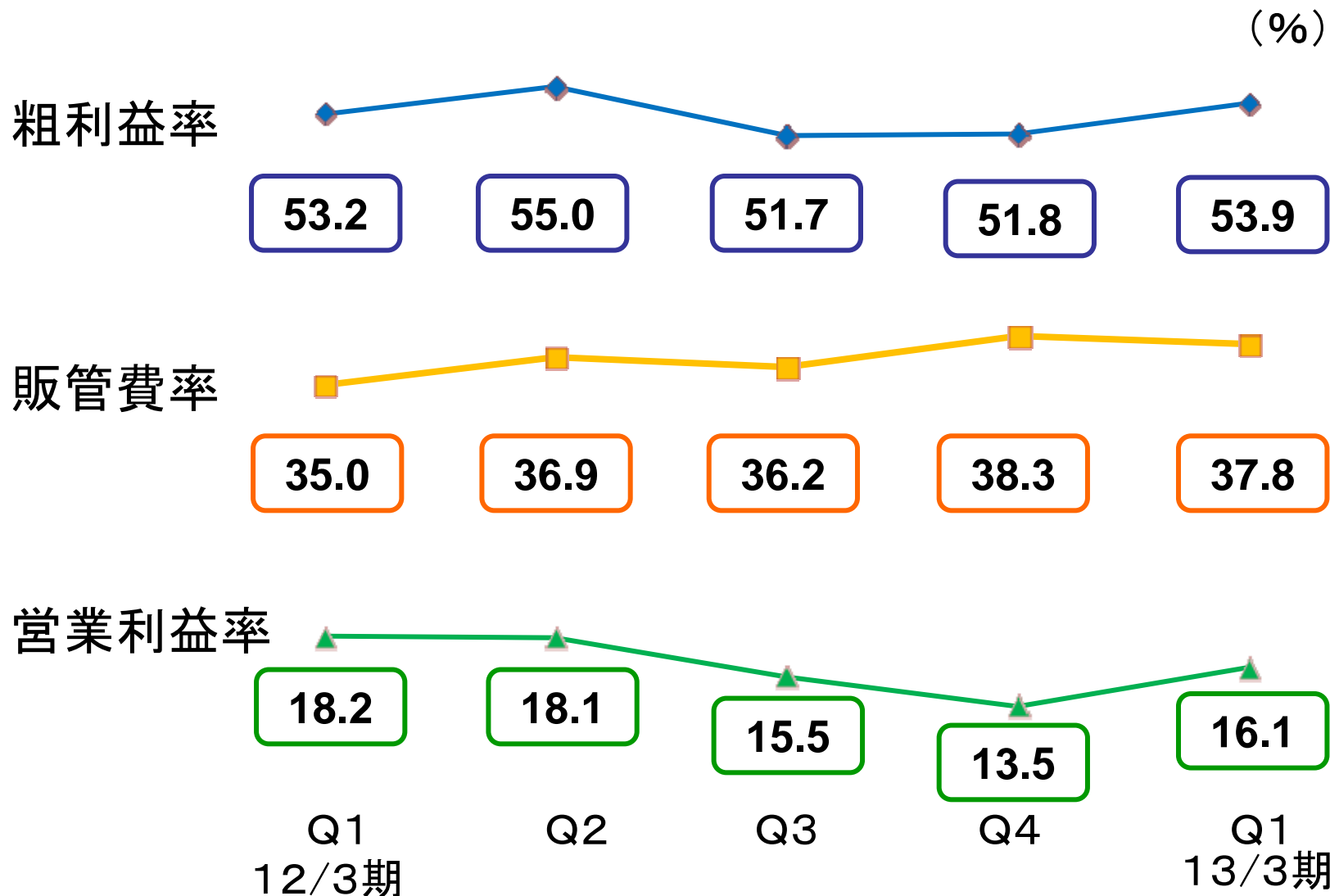
%: 対年間見通し

為替感応度

	ドル	ユーロ
売上高	16億円	7億円
営業利益	4億円	4億円

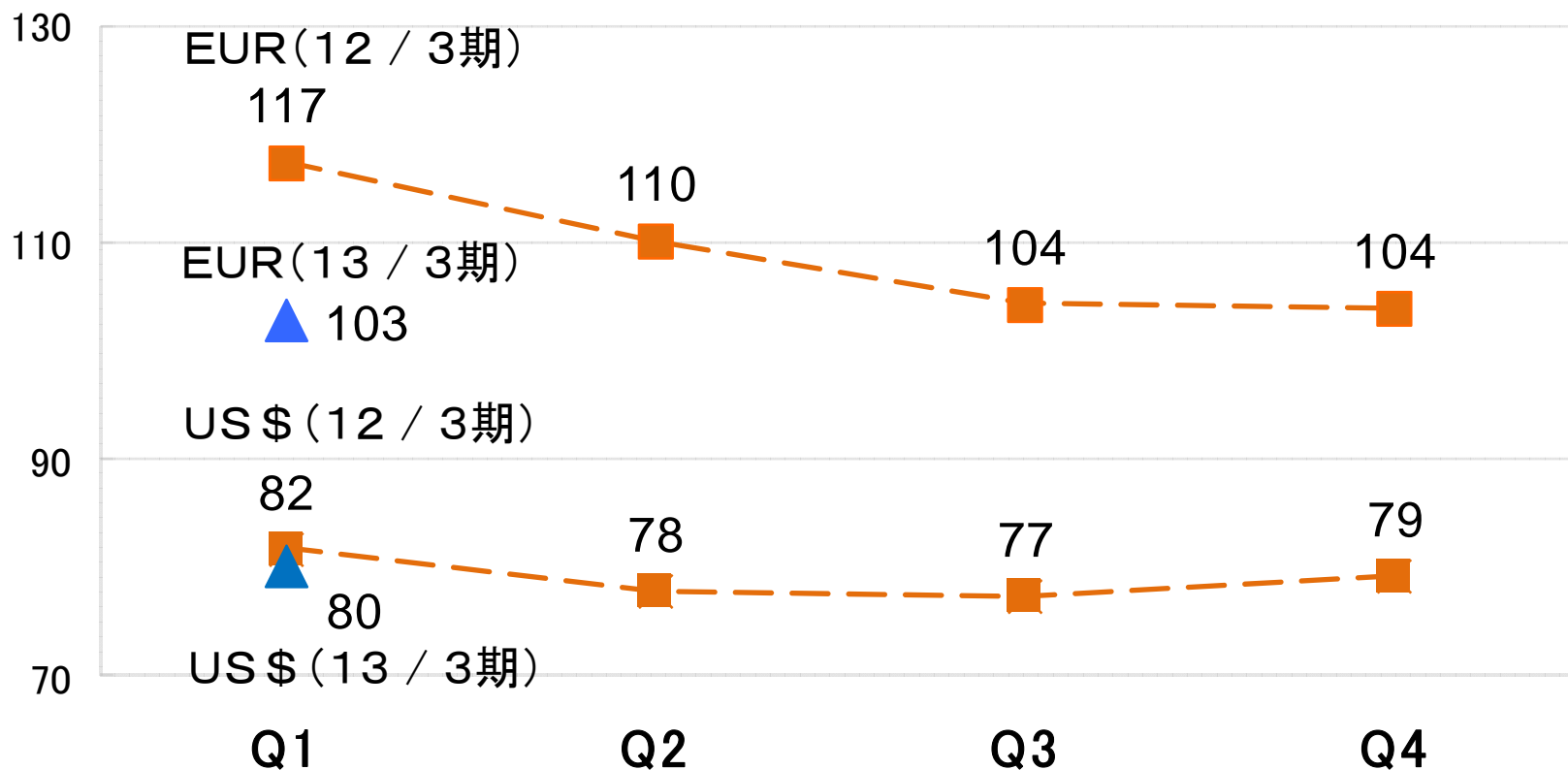
- ◆孫会社の外貨売上を反映
- ◆のれんの影響を考慮

粗利益率、販管費率、営業利益率



(各四半期の3ヶ月単位)

四半期平均為替レートの推移



(各四半期ごとの期中平均レート)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。